

令和 4 年度 鳥取沿岸土砂管理連絡調整会議（東部地区） 議事要旨

日 時：令和 4 年 11 月 28 日（月）9 時 30 分～11 時 30 分

場 所：鳥取県東部庁舎 5 階 講堂

（1）サンドリサイクル事業の効果検証及び課題抽出

○各機関が実施している測量結果を基に、短長期の汀線変化傾向についての考察が報告された。

＜主な意見＞

○岩美海岸（浦富地区）では人工リーフが完成したことで、ある程度砂浜が平衡状態となり、侵食箇所もある程度固定化されるであろうと考えられるため、今後は特定の箇所に継続的に養浜するような維持管理方法について検討することも必要と考えられる。

＜申し合わせ事項＞

○青谷漁港海岸（勝部川右岸）では今年、砂浜の消失が確認された。県・市をはじめ、地元漁業関係者とも調整しながら勝部川河口の堆積砂等を青谷漁港海岸へ養浜するなどの配分調整を今後検討する。

○気高海岸における国道 9 号への飛砂対策について、国・県で調整を行い、その対応を検討することとした。

（2）各管理者の土砂管理への取組

■国道 9 号（浜村川右岸）の対策状況について

○過去からの侵食状況及び今後の侵食対策（鋼矢板の施工）について、説明が行われた。

＜申し合わせ事項＞

○矢板施工後に引き続き侵食が見られる場合は、対策工（直立堤ならびに洗堀防止等）の構造について、関係機関で協議することとした。

■青谷漁港海岸の侵食状況について

○今年度、勝部川右岸で例年以上に砂浜の後退が見られた。国道 9 号への影響を未然に防止するため、袋詰め砂による侵食対策の概要報告が行われた。

■岩美海岸（浦富地区）における人工リーフの完成について

■岩美海岸（浦富地区）におけるサンドパットの検討について

○令和 4 年 8 月に人工リーフが完成したため、その報告が行われた。また今後整備を検討している浜崖対策（サンドパット）について報告が行われた。

＜主な意見＞

○人工リーフ完成後のモニタリングを行っていく中で、その効果や新たな課題が見えてくるものと考えている。

（3）事務局からの報告事項

■気候変動に伴う海岸保全基本計画の見直しについて

○気候変動に伴う海岸保全基本計画の変更について、現状や今後の見通しの報告が行われた。

■サンドポンプの試験施工の結果概要について

○令和 4 年 11 月に浦富海岸で実施された鳥取方式のサンドリサイクル工法について、試験施工の概要と結果の報告が行われた。

■グリーンレーザー計測の有用性に関する研究について

○令和 3 年度に陸上海岸で行われた UAV グリーンレーザー測量の実証実験について、概要と結果の報告が行われた。

■人工衛星データを用いた砂浜の変化観測について

○令和 4 年 11 月から鳥取大学と鳥取県で共同実施する人工衛星データを用いた砂浜の変化観測業務について、その取組内容とデータ活用方法等について報告が行われた。